

添削ワークシート(自己PR文編)

この文章は600字以内で作成された自己PR文です。以下【1】【2】の問いに答えなさい。

【1】①～⑯の下線部や括弧()は、文章の書き方や内容に関する誤りを含みます。それらの誤りを添削欄で指摘し、どのように修正すべきかを記入例や①を参考に書きなさい。なお、同じ番号が複数ある場合は、同じ種類の誤りを意味します。また、この文章は全4段落で構成すべきところを、第二段落が第一段落の一部になっています。下線①～⑯の中で改行すべき箇所を見つけ、その番号については「ここで改行」という指摘を添削欄に記入すること。

(記入例)

《原稿用紙》	《添削欄》
作業を <u>テキパキ</u> 行う必要がある。	話し言葉(迅速に)

↑ 「テキパキ」は話し言葉なので、適切な書き言葉(「迅速に」)に修正しています。
↑ 修正の文言は、原稿用紙上の下線部や括弧の近くに記述しても構いません。

【2】【1】を踏まえ、この文章は4つの段落で構成されることがわかりました。4つの段落の中で、以下の役割を持つ段落はどれか答えなさい。

- 自己PRの根拠として、筆者が起こした行動の成果を説明する。 _____ 段落
- 筆者が自己PRしたい内容を明確に述べる。 _____ 段落
- 自己PRを踏まえて、進路や将来への展望を述べている。 _____ 段落
- 自己PRの根拠として、筆者の行動や計画を説明する。 _____ 段落

(第一段落(序論) / 第二段落(本論①) / 第三段落(本論②) / 第四段落(結論)から)



高校名	① <u>都立東京第一学園高校</u> <u>東京都立第一学園高等学校</u>						
学年	3	年	クラス	2	組	出席番号	14
氏名	東京 太郎					問題番号	

自己PRを述べなさい。

私は、②規則正しい生活を送るという目標に向けて計画を立てて行動する③ことに努めました。この力は、④家庭科の調理実習に遅刻した経験を契機に身に付けたものです。⑤1年生の時に、家庭科の調理実習に遅刻をして、参加できないということがありました。得意教科だ、たため後悔したのですが、それ以前にも⑥ギリギリの登校を繰り返していたことに気づきました。⑦二度と再び同じ⑧ミスをしてないためには、⑨短に早起きをするだけでなく、生活全体における⑧ルーティーンを見直す必要があると考えました。そこで、規則正しい生活を目標にし、自分の行動を項目として書き出し、優先順位を付けていきました。⑩または、優先順位の高い学習、部活動、睡眠などの所要時間を定め、その時間設定に沿って行動するという計画を立てました。⑭計画に基づいて行動したことで、⑪開始⑫20分前の登校を維持できるようになり、時間の使い方にも余裕が出てきたため、興味のあるパン作りにも、家事の一環として⑬取り組めるようにもなりました。⑭当初の計画では想定しなかつた⑮行動だったが、時間を決めて行動することが身に付いて⑯いたから、所要時間を定めることで、生活の中に組み込むことができました。

現在では、パン作りへの取り組みが高じて製パンの仕事に⑰付くという新しい目標を持っています。資格や技術など習得すべきことが⑱かなり多い分野ですので、⑲長所を生かして努力します。

<添削欄>

① 高校名は正式名称で書く
↓ (東京都立第一学園高等学校)

②

200字

400字

600字

800字